

52億9,000万円

歳入

地方交付税 1,575,000 千円(29.8%)	地方公共団体の財源を保证するとともに財源調整をします。全国どこの市や町でも健全な行政運営ができるよう、その団体の財政需要によって、国税を財源に国から交付されるお金。
町 税 1,560,266 千円(29.5%)	みなさんに納めていただく町民税や固定資産税などの税金。町が行政に要する経費として、教育や福祉、道路の整備など幅広く使われます。
町 債 420,900 千円(8.0%)	道路新設改良事業や防災無線の整備等、特定の事業に充てるため県知事の許可を得て、国や銀行などから借り入れるお金。
国・県支出金 362,229 千円(6.8%)	児童福祉事業費や心身障害者福祉事業費、参議院選挙費などその事業の経費に充てるため、国や県から負担金・補助金・交付金などの名目で交付されるお金。
繰入金 322,518 千円(6.1%)	歳出に対し歳入に不足が見込まれる場合、積立金（財政調整基金等）などから歳入として繰り入れられるお金。
地方譲与税 地方消費税交付金 分担金・負担金 諸 収 入 他 そ の 他 1,049,087 千円(19.8%)	もともと地方公共団体の財源とされるものを、国が国税として徴収し町に交付される地方譲与税（地方道路譲与税・自動車重量譲与税など）や地方消費税交付金。新東京国際空港公団から交付される空港周辺対策交付金など。



21世紀のまちづくり

平成13年度予算は、21世紀のまちづくりの指針となる「横芝町新総合計画」の諸施策の推進を図るべく編成され、特別会計を含めた総予算額は83億3千246万4千円となりました。

また、一般会計予算については、横芝中学校移転のための用地取得事業、横芝駅トイレ改修事業、空港シヤトルバスの運行などの新たな事業を推進してまいります。都市計画事業委託費の減、駅前西側広場の用地取得に係る償還完了等により、予算規模は52億9千万円で対前年比0.8%の伸びとなりました。

歳入

町税とともに歳入の大きな柱である地方交付税は、国の特別会計予算の減額等により減収の見込みとなり対前年比6.0%減の15億7千5百万円が計上されました。また、町税についても景気の低迷などにより多くを望むことができず対前年比1.0%増の15億6千26万6千円を計上するに止まりました。このほか地方譲与税、分担金・負担金など増額項目はあるものの、歳入不足を補うため町債（借入金）や基金からの繰入金を計上し財源を確保するという大変厳しい状況となりました。

歳出

厳しい財政状況を反映し、経常経費（人件費や物件費など）を極力抑制したのとなりました。

目的別の各費目は、特別養護老人ホーム建設事業補助金や児童手当就学前特例給付費の増などにより、民生費が対前年比で8.8%増加しました。また、漸増傾向にある公債費（借入金の返済）も87%の高い伸びを示し、中学校建設推進事業を計上した教育費は27%の増